

ARAI NEWS



オープンフェイスのS2では、着脱式イヤークッションを採用しサイズ調整ができるようにさせていただきました。これがフィットにうるさい方々に大変好評を博しています。フルフェイスでも是非という声にお答えし、今度のアストロロイでは、いよいよ頬パッドの調整が可能となるシステムが採用されることになりました。名付けてシステムパッド。明解にして実践的な Araiらしいアイデア（特許出願中）です。

●
Araiでは2輪4輪問わず、10数年前から世界中のサーキットで、レーシングサービス活動を行なっています。その中でも頻繁に行なう作業が内装調整です。もちろん契約ライダーでも日割方の選手は、ノーマルのままで満足して下されます。でも、一部の方は、どうしても標準的な形状と大きく異なるために、よりベストな状態でレースに挑めるように調整しているのです。

●
この内装調整の中身の殆どは頬パッドの厚み調整です。選手の中には、頭部のサイズが同じ(例えば(57-58))でも、頬が覆せている選手もいれば、太っている選手もいます。大概はノーマルでカバーできますが、やはり平均的な選手に比べるとフィット感は違っています。そういった選手にも、本格的な、

●のフィット感を味わっていただくために、レーシングサービスでは、頬が覆せている人には厚めのパッドに、太めの人には薄めへ、またどうしてもキツメが好きだというような人には好みに合わせても調整しているのです。



こうしたレーシングサービスで行なわれている調整と同じように、市販製品にも頬パッドの厚み交換を簡単にできるようにしたのがシステムパッドです。確かに頬パッドが簡単に取り替える事が出来れば便利です。しかし、一口に着脱といっても安易には作れません。数多くの試作品が出来ても、安全性に影響を及ぼすものや、しっかり固定できず走行中に動いてしまうもの、また、何回も着脱している間に最初のフィット感が変わってしまうといった問題が出てしまうのが殆どで、難しい物でした。伝統の Arai のフィット感、そして安全性が少しでもそこなわれるようなものでは Arai は世に出すことではできません。

●
2000年12月25日、Araiは、このシステムパッドを正式に発表しました。この発表は、Araiの歴史の中で、最も重要な出来事の一つです。Araiの伝統的なフィット感を、より快適に、より安全に、より長く楽しむことができるように、Araiは常に努力を続けてきました。しかし、Araiの伝統的なフィット感は、まったく失われていません。もちろん安全性や耐久性の問題も十分にクリアされています。レースでの使用に耐えうるフィット感を持ちながら、頬パッドの調整が自分で出来るようになったシステムは世界でも初めての事です。これからはサーキット走行時とツーリング時のフィッティングを多少変えてみるなんて事も可能になりました。それだけではありません。システムパッドを外して洗濯する事も出来ます。ヘルメット選びのポイントがまたひとつ加わりました。頭のスミに置いておいて下さい。



また一步人間に近付いた ヘルメット選びの新しいポイント 「システムパッド」

(株)アライヘルメット
〒330 埼玉県大宮市東町2-12
TEL(0486)41-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。製品の事なら、お気軽にご相談ください。直通 TEL (0486)45-3661